



PIARC 札幌大会 ふゆトピア・フェアに向けて

～大会まであと7ヵ月、最近の状況報告～

PIARC 札幌大会現地実行委員会／ふゆトピア・フェア合同実行委員会事務局

はじめに

2002(平成14)年1月28日から31日にかけて札幌ドームにおいて「2002PIARC 国際冬期道路会議札幌大会」が開催されること、3年に1度北海道で開催される「ふゆトピア・フェア」が時期を併せて催され、展示会を共同で行うことは、すでに「北の交差点」誌上で紹介されたところです。

本号では、大会を構成する技術研究発表や展示会など主なプログラムについて現時点での準備状況についてご報告します。

なお、「PIARC 札幌大会」と「ふゆトピア・フェア」の大会スケジュールは表-1のようになっています。(H)は「ふゆトピア・フェア」の行事、(月)から(至)はPIARCの行事、(代)と呼は共同で開催する行事です。

表-1 大会スケジュール

	s ...	Ⓔ	1/28	1/29	1/30	1/31
@ S	ÆE ÆV WE	D y s fl	↔			
A	PIARCJ fi	D y h [↔			
B	⌘ } Z v V	D y h [↔			
C	I [v j O Z b v	D y h [↔		
D	Z p / > \	D y h [↔	↔	↔
E	˘ ° Z b v	D y h [↔	
F	X ^ [Z b v	D y h [↔	
G	o P b g	Cg D y			↔	
H	N [W O Z b v	D y h [↔
I	˘ fi	D y h [↔
J	e N j J r W b g	D y s x		↔	↔	↔
K	W f	D y h [↔	↔	↔
L	Æ @ B W f	D y h [↔	↔	↔

1. 全国克雪・利雪シンポジウムについて

「ふゆトピア・フェア」のメイン行事であるこのシンポジウムは、1月28日(月)午後、札幌市民会館で開催されます。「21世紀に続く北海道の挑戦」をテーマに有識者2名から講演をいただき、その後対談を予定しております。現状の北海道における生活、経済につ

いて総括し、21世紀における北海道の方向性について議論することを予定しております。

2. 技術研究発表

1) 論文採択状況

「PIARC 札幌大会」のメインである技術研究発表については、すでに論文(概要版による)の受付が終了されています。本年1月末の段階で著者に採否の通知を行い、本論文の提出が依頼されております。採用論文のトピック別、国別一覧は表-2、3-(H)、3-(月)のとおりです。

表-2 トピック別採用論文数

	gsbN...	_ ¶
1	~ æ „ H ' > y "	25
2	Æ X } l W g ~ R X g	41
3	s s □ fl Ø ~ æ „ H E ˘ ° S	23
4	˘ « ~ G l M [27
5	æ ° M Z p	39
6	Æ X . Z p J >	57
v		212

表-3-① 地域・国別採用論文数(その1)

n	...	_ ¶
AWA	α {	91
		12
	C h	2
	C	1
@ < v	5 J	107
A J	A J	7
	J i _ i P x b N j	10
@ < v	2 J	17

表-3-② 地域・国別採用論文集(その2)

n
[b p	t B h	17
	X E F [f	12
	m E F C	7
	f } [N	2
	A C X h	1
	C M X	2
	t X	9
	h C c	8
	C ^ A	2
	X C X	4
	x M [5
	I [X g A	1
	' F R / a	1
	[] j A	2
	g R	1
	V A	3
	g r A	1
	G X g j A	4
	X x j A	3
	E N C i	1
	N A ' A	1
@ < v	21 J	87
I Z A j A	j [W [h	1
@ < v	1 J	1
v	29 J	@ @212

2) オープニング及び特別セッション

PIARC 札幌大会中、会議参加者を対象としたセッションが2つ企画されています。

1つは、積雪寒冷地や地球環境に関する研究の特別講演と積雪寒冷地の道路交通についての講演を行うオープニングセッションです。現在、国際北極圏研究センター所長をされている赤祖父俊一氏から「オーロラと北極圏」と題して講演をいただくほか、ヨーロッパと日本の道路管理者から講演をしていただく予定です。

もう1つは、「21世紀における冬期道路サービス(仮称)」をテーマに広く世界から意見を求め、その方向性をさぐるという特別セッションです。PIARC 前会長である三谷浩氏が議長をつとめ、各国の学識経験者や道路行政責任者によるパネルディスカッションを予定しています。

3. 展示会

「PIARC 札幌大会」と「ふゆトピア・フェア」の共同で開催される展示会は札幌ドームのアリーナで屋内展示を、札幌ドームの駐車場など周辺で屋外展示および除雪機械の展示実演会を開催します。昨年秋から出展募集を開始しており、すでに、日本を代表す

る自動車メーカーや電気通信メーカーから出展意向が示されています。また、道内からも建設や融雪機メーカー、資材関係など過去のフェア出展者などから出展意向が示されています。

さらに、展示会では民間からの出展ばかりではなく、北海道開発局、北海道、札幌市が中心となって企画を進めている北海道ブース、同様に東北、北陸からの地域ブース、さらには日本ブース、日本道路公団ブースなど多くの行政機関等からの出展が計画されているほか、海外からの出展も予定されています。

このように、たくさんの地域から幅広い分野の出展が見込まれているところです。

4. その他

これらのほかにも、大会中はPIARC参加者向けのテクニカルビジットや開・閉会式などといったセレモニーも企画されています。これらについては現地実行委員会を組織し、鋭意準備を進めているところです。

特に、テクニカルビジットについては、いくつかのコースを設定し、いろいろなところを視察することで計画しています。実行委員会事務局メンバーだけでなく、視察の受け入れ・説明等たくさんの方のご協力を得ながら、関係機関が一体となって準備を進めています。

おわりに

札幌でこの大会を開催することは2つの意義があると思います。1つ目は、大会に参加することで最新の技術について知ることができる。2つ目は論文発表や展示会の出展により北海道の技術を道外に、海外に情報発信することができる。これだけの規模の大会を札幌で行うことは、またとないチャンスを北海道に与えてくれたものと思います。

参加については、展示会(屋内、屋外、除雪機械展示実演)の入場は無料となっていますが、展示会出展およびPIARCの参加登録は事前登録(有料)が必要です。ご関心のある方は、お気軽にお問い合わせください。また、以下のHPでも最新情報を知ることができます。

・<http://www.piacr-sapporo2002.road.or.jp>

大会のご案内は今後いろいろとごさせていいただくことになるかと思っています。本誌をお読みの皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

(文責 北海道開発局建設部道路計画課専門官 谷村昌史)